

2026年度 岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校  
 学校関係者評価委員会報告書  
 (2025年4月～2026年3月)

1 学校関係者評価委員会実施要項

開催日時	2026年5月28日(木)16:00～17:30
開催場所	岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校 202 教室
参加者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>松野 功明(代行鈴木様) &lt;関連業界企業&gt; 有限会社サロン・ド・ボーテ・グレース          山内 寿子 &lt;関連業界企業&gt; 株式会社フラタニティ(エステティック H&amp;B)          最上 千香 &lt;卒業生&gt;          我妻紗彩香 &lt;卒業生&gt;          高橋 佑佳 &lt;保証人&gt;          横田 麻紀 &lt;保証人&gt;          鈴木 弘文 &lt;地域住民&gt;          松本 康二 &lt;地域住民&gt;</p> <p>【教職員】</p> <p>鈴木 政信 校長          宮田 具 副校長          石崎 淳子 教員          古谷 聖子 教員          荒木美由貴 教員          三原 にご 教員          秋山 京子 本部事業推進・入試広報課 課長          森 敦子 本部事業推進・入試広報課          平本由香理 本部事業推進・入試広報課</p>
評価期間	2025年4月1日～2026年3月31日
評価対象	ビューティースタylist科、トータルビューティー科
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2025年度学校事業概要報告</li> <li>・ 事業活動収支計算書</li> <li>・ 授業アンケート集計</li> <li>・ 学校自己点検・自己評価表</li> </ul> <p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定について</li> <li>・ 今後の専門学校における職業実践専門課程制度の充実にむけて(とりまとめ)(概要)</li> </ul>

■ 校長より挨拶

- ・ 配布資料の説明
- ・ 学校関係者評価委員会について、「業界関連企業」「卒業生」「地域」「保証人」「教職員」より構成され、実施が必須の委員会であることの説明
- ・ 職業実践専門課程について・教育課程編成委員会についての説明
- ・ 委員の自己紹介
- ・ 本日の議事については、学校ホームページにて情報を公開する

## 2 2025年度の学校事業概要報告

学校行事について	
4月4日	2025年度生入学式(ビューティースタylist科 37名、トータルビューティ一科 26名、計 63名入学)
4月7日、8日	新入生オリエンテーション(授業開始前に専門学校生としての心構えや、教育システムなどを説明)
4月16日	避難訓練(一時避難場所までの避難経路の確認を含め実施)
4月25日	ボウリング大会(春の交流会。各科で実施。1年と2年の交流を深める)
5月14日	健康診断(健康の状態の確認、疾病の早期発見、予防・改善)
7月11日	芸術鑑賞会(横浜美術館を訪れ、展覧会の鑑賞。芸術的な感性を養う)
7月16日	学生競技大会(関東地区における理美容競技大会)
9月5日、6日	作品発表会(2年生対象。「Chronos・Kairos」をテーマに校内にて実施)
9月5日、6日	作品展示(1年生対象。モデルウィッグ・モデルハンド・モデルマスク等を使用した作品制作発表)
10月1日	バーベキュー大会(秋の交流会。全校生徒で実施)
11月24日	ネイル EXPO(トータルビューティ一科対象。国内最大級のネイル業界イベント。商材から技術まで最先端を学ぶ)
2月13日	合同面接練習会(1年生対象。企業の人事担当者にお越しいただき模擬面接を実施)
3月6日	2024年度生卒業式(ビューティースタylist科 34名、トータルビューティ一科 9名、計 43名卒業)
3月17日	マナー研修(ホテルにてテーブルマナーを学ぶ)
3月27日	フレッシュアーズ研修(エステティック協会に講師依頼。新人教育の必要性を学ぶ)
● 学校行事は問題なく実施できた	
教育交流事業について	
5月中旬～10月中旬	直営店「Beauty Therapy Ai YOKOHAMA」によるフェイシャル体験授業(トータルビューティ一科学生が、エステ体験を通してお客様の立場からエステティックを学ぶ)
5月27日	LVMH による MUFЕメイク展示授業(MUFЕ トップメイクアップアーティストから、メイク技術を学ぶ)
5月20日	きくや美粧堂によるきくやプライマリーセッション(きくや美粧堂が当校の為だけに企画運営するヘアショー)
5月30日	フラタニティによるブライダルエステ(ブライダルエステの基礎を学ぶ。お手入れ、注意点、必要性を理解する)
6月6日、13日、20日	ウエラプロフェッショナルによるウエラカラー研修(メーカー最大手のウエラインストラクターより最先端のカラー技術及び理論を学ぶ)
7月2日	グレースによるブライダルヘアメイク(作品発表会に向けて、ヘアメイ

クの展示授業を実施)

- 5月9日、1月22日 内海による内海シザーズ「刃物工学」授業(ビューティースタylist科はシザー、トータルビューティー科はニッパーの製造過程から材質知識、手入れ方法などを学習)
- 10月8日 TATによるジェルネイル導入授業(ジェルネイルの検定アートや、応用アートのデモンストレーションを実演)
- 11月5日 ビューティーツリーによる職業人講話(人事担当者から、業界の動向、求められる人物像等を学ぶ)
- 11月19日 セレネイル・TBCによる職業人講話(人事担当者から、業界の動向、求められる人物像等を学ぶ)
- 11月11日、18日 滝川による美容ライト脱毛講習(美容ライト脱毛の知識と基礎技術を習得する)
- 11月26日 ウエラプロフェッショナルによるパーマ研修(メーカー最大手のウエラインストラクターよりパーマ技術及び理論を学ぶ)
- 12月4日 TATによるPOPセミナー(商品POPを書くポイントや考え方を学び、実際にPOPを作成してみる)
- 12月9日 望月まりか氏による手作りコスメ(手作りコスメの基本理解。注意点、製造工程の理解)
- 12月10日 ミルボンによるヘッドスパ研修(ミルボンインストラクターによるヘッドスパ研修)
- 12月18日、1月8日 横浜中年金事務所による年金セミナー(年金の必要性や加入する種別をわかりやすく説明)
- 1月15日 きくや美粧堂によるキャリアパスセミナー(新人教育担当者が、社会人に必要な知識やキャリアプランなどを説明)
- 1月20日 TATネイルズインク事業報告部によるSNSセミナー(企業のSNS活用の重要性や、印象に残る写真の撮り方、基本的知識を学ぶ)
- 1月28日～2月2日 きくや美粧堂によるインターンシップセミナー(5日間でサロンワークの実技や座学を学習)
- 3月中 協力サロンによるリアルインターンシップ(ビューティースタylist科対象。美容室でのインターンシップを再開)
- 4月～9月 教育連携校による教育交流(半期)講座
- 8月 教育連携校による教育交流(夏期講座)

- 職業実践専門課程に認定されている本校にとって、現場企業の連携により進めている授業などは、学校の特色、強みとなっている部分である

#### 外部からの受託した事業や研修等について

岩谷学園教育連携にて、連携高校より教育交流半期講座・教育交流夏期講座に計32名の受講生受け入れ

## 在籍者と卒業生数、退学率について

在籍者 ・ 106 名

(2025 年 5 月 1 日時点)

卒業生 ・ 43 名

退学者 ・ 6 名

退学率 ・ 5.6%

- 学生の入学時の状況については、メンタル面や学習意欲において個人差が大きくなっている。そのため、各担任が年 4 回の個人面談を実施しており、必要に応じて追加面談も行う体制を整えている
- 学生一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、教育改善を継続しながら支援方法の検討に努めていく

## 資格取得状況について

### 〈ビューティースタylist科〉

- ・ 美容師国家試験合格率 91.1%  
神奈川県内合格率高水準を維持
- ・ 「JNEC ネイリスト技能検定(3 級)」は 26 名中 19 名が合格
- ・ 「JNA ジェルネイル技能検定(初級)」受検した 7 名全員合格
- ・ 「Iab まつ毛エクステンションベーシック検定」20 名中 18 名が合格
- ・ 「色彩活用パーソナルカラー検定(3 級)」32 名中 22 名が合格
- ・ 「ビジネス能力検定ジョブパス」29 名中 27 名が合格

- 積極的に検定を受験する学生が多かった

### 〈トータルビューティー科〉

- ・ 「AJESTHE 認定上級エステティシャン」「AJESTHE 認定エステティシャン」はエステティシャン希望の学生 4 名が全員合格
- ・ JNA ジェルネイル技能検定(上級)は、ネイリスト希望の学生 5 名が全員合格

- 2 年生が 9 名であったが、真面目な学生が多く検定合格率は高かった

## 卒業生の進路状況について

### 〈ビューティースタylist科〉

就職率 100%(美容師 90.3%、アイリスト 9.6%) ※就職希望者における割合

卒業者に占める就職者の割合:91.1%

- ・ いわゆる都内有名店を希望する学生も一定数いるが、外部講師の所属するサロンやアルバイト先、カットモデルとして関わったサロンなど、就職先の探し方が多様化してきた

### 〈トータルビューティー科〉

就職率 100% (エステティシャン 44.4%、ネイリスト 55.5%)

卒業者に占める就職者の割合:100%

- ・ 例年ビューティーアドバイザー希望者は多いが、今年は希望者自体がいなかった
  - ・ 企業側の研修制度について、入社前、入社後、入社後一定期間スクール通学を行うなど様々な形式がある
  - ・ オンラインの説明会や面接については減少傾向
- 学校として企業側へ採用条件の確認を行うだけでなく、学生自身が「選択する力」を身に付けられるよう、学校と就職担当が連携して支援体制の充実に取り組んでいる

#### 教育環境の充実化

##### 〈設備について〉

- シャンプー室の実習スペースにおいて、シャンプー台を最新設備へリニューアル
- 今後、セット面や鏡についても更新を予定  
より実際のサロン環境に近い実習空間の整備を進める
- 各教室に大型モニターを導入

##### 〈キャッシュレス化・デジタル化の推進について〉

- 本部の移転に伴い、校内で手続きが完結できるよう運用見直しを進めている
- 学生の支払いについても、キャッシュレス決済の導入を行った
- 学生証についても、従来のカード型学生証からデジタル学生証への移行を実施

#### 財務状況

- 予算を上回る収入を確保し、学校運営に必要な収入は概ね計画通り確保できている
  - 燃料費や光熱費、消耗品費の高騰への対応が課題となっているが、校内照明のLED化を実施し、経費削減に取り組んでいる
  - 18歳人口の減少や、学校法人を取り巻く経営環境の変化により専門学校業界全体で厳しい状況が続くと予想されるため、徹底した財務管理の元、引き続き健全な経営に努めていく
- 支出を抑えながらも学生が快適な学生生活を送れるよう設備投資が行われている

### 3 基準項目ごとの学校関係者評価・意見等

2025年度の自己点検評価報告をもとに、基準項目ごとに学校から説明がなされ、評価を行った

評価項目		評価
1	教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育理念や教育目標については、教職員への浸透が図られており、大きな課題は見られなかったが、一方で業界ニーズや社会情勢の変化に応じて、育成する人材像や教育内容の見直しを継続的に行う必要があるとの意見が挙げられた</li> <li>・ シラバスや教育内容についても、時代の変化に対応しながら定期的な</li> </ul>

		改善を行うことが課題
2	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営全般については概ね適切に行われている</li> <li>今後の課題として、中長期的な教職員の採用・育成が挙げられ、若手教職員の確保や定着、将来的なキャリア形成支援が特に重要</li> </ul>
3	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携による特別研修は今年も実施した。今後も可能な限り産学連携によるキャリア教育を含めた質の高い美容教育を目指していく</li> <li>年2回全学生を対象とした授業アンケートを実施し、結果を教員にフィードバックするなど定期的な授業の見直しと改善を行っている点は評価できる</li> </ul>
4	学修成果・教育成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後3年以降の状況把握や追跡調査が十分ではないことが課題</li> <li>今後は校友会組織の活用や卒業生との継続的な関係づくりを進め、卒業後の状況把握に努める必要がある</li> <li>就職率は安定して高水準を保っており、学生のニーズに沿った就職支援体制が保たれていることが伺える</li> </ul>
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回以上の定期面談を実施し、退学率は全体で約5%前後となっており、比較的低い水準を維持している。退学理由としては学校への不満よりも、体調不良や進路選択時のミスマッチが多い傾向にある。特に進路を十分に検討しないまま入学した場合、入学後に適性とのギャップを感じて退学につながるケースが見られることから、入学前の進路理解が重要</li> </ul>
6	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備や、教材備品については、教育上の必要性に十分に対応できていると評価できる</li> <li>現在希望者のみを対象としているインターンシップを全員対象にすること、および海外研修の再開が望まれる</li> <li>ただし勤労学生に対する配慮は必須であり、充実した研修との両立が必要である</li> </ul>
7	学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生募集活動は、協定等を遵守し、公正かつ適切に行われていると判断できる</li> <li>ビューティースタylist科は募集定員を例年ほぼ確保しているが、トータルビューティー科の募集については年度によるばらつきが大きい。ため、本部入試広報課との連携を強め募集人数の安定を図ることが課題である</li> </ul>
8	教育内部質保証システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされ、業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されていると評価できる</li> <li>個人情報の保護や肖像権、著作権の取り扱いについても適切に情報を収集し対応していることがうかがえる</li> <li>学生や教員に対する啓蒙活動も定期的に行うことができている</li> </ul>
9	財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の質を担保しながら支出を抑える工夫をしたことは大いに評価できる</li> <li>現段階では財務基盤は安定していると判断できる</li> </ul>
10	社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、一部の高校と教育連携活動をキャリア教育として実施してお</li> </ul>

		<p>り、地域に根差した学校教育を積極的に行っていることがうかがえるが、教育訓練(職業訓練)においても、積極的に協力していきたいという姿勢があり、評価できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍では困難な状況であった、トータルビューティー科による高齢者施設へのボランティア活動が再開できている。今後もボランティア受け入れ先の新規開拓を積極的に進めて継続していく姿勢は評価できる</li> </ul>
11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在は特区として東京都・大阪府のみ、美容師免許取得後の外国人留学生の就労は制度上可能となったが、就労ビザ取得・更新の要件は依然として厳しい状況</li> <li>・ ただし今後の情勢変化も視野に入れ、常に留学生の入学を受け入れられるよう、適性校の維持に努めてほしい</li> </ul>

総評

学校関係者評価委員会として、岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校の学校評価は概ね「適切」と判断・評価できる

開校以来、借入金はなく健全な財務体制を維持しながら、且つ学生への経済的負担をできる限り抑えながら学校運営が行われていることは大いに評価に値する

学生の多様化が進む中で、学生一人ひとりの状況に応じた支援を行うべく、常に教育改善しながら支援方法の検討に努めている面は大いに評価できる

卒業後の進路についても、学生の情報収集手段が多様化する中、「いかに自分に合った進路を見つけられるよう支援するか」は重要な課題である。しかし本校では、教員と本部職員が緊密に連携することで、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援体制を構築できている

今後も積極的に学生の意見を反映させながら、卒業生が安心して誇れる母校であり続けるため、引き続き健全な学校運営に努めてほしい